

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館日本画コレクションから



「篝火」

1982年ごろ、紙本彩色
53・2cm×72・8cm

工藤甲人（1915～2011年）

各地で桜が満開を迎えるのを待ちきれず、各地で桜が満開を迎えていきます。本作は燃え盛るたいまつのかごをゆらりと持ち上げ、桜を映し出した一点。画面を覆う花がすみ。白く煙るように満開に咲いた桜の枝には、華やかに、つぼみと葉、散りゆく花が同時に描かれます。

工藤甲人は、青森県弘前市に生まれ、上京し川端画学校で学びます。戦争をはさみ、画業を中断し出征、終戦とともに復員。しばらく故郷で農作業をしながら、創作を再開します。

本作は、4月18日から常設展示室で展示します。

（大谷）